

【2026 年度医療保健委員会継続研修について】

2026 年医療保健委員会継続研修ミニ講座

第3弾は「脳からみた認知症ーアセスメントからケア・家族支援へー」と題して、滋賀県立総合病院精神科／臨床研究センターの鈴木則夫先生に、認知症という病気を脳から考えることの効用や、神経心理学（認知機能検査など）を「意外に難しくない」と感じられるようなご講演をいただきます。

認知症は、身近な家族や未来の自分にも起こるかもしれない疾患です。医療現場で働く先生だけでなく、他領域で働く先生方もお気軽にご参加ください！

【日程】 2026 年 9 月 12 日（土） 13 時 30 分 ～ 15 時 30 分

【開催場所】 オンライン開催

【参加定員】 100 名（先着順）

【参加資格】 対象者：長崎県臨床心理士会会員、長崎県公認心理師協会会員

その他（近県の臨床心理士会会員、県内外の医療福祉など）

【参加費について】

- ・長崎県臨床心理士会会員：無料（年会費に研修費含むため）
- ・長崎県臨床心理士会会員以外：2,000 円

※申し込み後、銀行振込先をお知らせしますので、**8月31日**までにお振込みください

【講師】 鈴木則夫先生

滋賀県立総合病院 精神科／臨床研究センター 滋賀県専門員（心理判定員） 言語聴覚士／公認心理師

【講師略歴】

同志社大学経済学部、立命館大学大学院応用人間科学研究科修士課程、大阪大学大学院人間科学研究科臨床死生学・老年行動学研究分野博士後期課程を卒業、修了。京都大学医学部耳鼻咽喉科音声科学研究室を経て、滋賀県立成人病センター（現・滋賀県立総合病院）で高次脳機能障害や認知症など器質性脳疾患の診療に従事。現在、同病院精神科心理判定員／臨床研究センター研究員として勤務。『失語症Q&A』（共著・新興医学出版社）や『心理老年学と臨床死生学』（共著・ミネルヴァ書房）『心理学で支える認知症の理論と臨床実践』（共著・誠信書房）、『老年臨床心理学ハンドブック』（共著・福村出版）などに携わられている。

【鈴木則夫先生に聞きたいことについて質問募集】

事前に先生への質問を募集します。日々の臨床での疑問・困っている事など、些細な事でも構いません。

質問は、申し込みフォーム内で募集します。（詳細は申込フォーム参照）

【申し込み方法】



Googleフォームでお申込みください（締め切り：**8月31日** 定員になり次第終了します）

申込フォーム：<https://forms.gle/Hf2qrAc3YNgz6i9cA>

問い合わせ先：医療保健委員会理事 越本莉香（jewelhachi@yahoo.co.jp）